



めざす子ども像 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子

「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子

「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

5年C組、国語授業、全国へ発信！

先月29日(金)5限目に、5年C組は全国から来校された先生方や研究者の方々に囲まれて、国語科の授業を行いました。これは、人権教育・生活綴り方を研究する会よりの依頼を受け、一年前より計画準備を進めてきたものです。

当日は、クラスの男子が祖父の見舞いに宮城県へ行き、東日本大震災後で変わり果てた(まだまだ復興が進み切っていない)故郷の風景、祖父母の家訪問と親戚のお墓参りの作文をもとに、男子が見たことや感じたことを理解し、その「場面」その「時間」に全員がタイムスリップする学びを行いました。

担任の濱田先生は、男子が訪れた日時の光景を全員に体験させたいということで、Google Earthを使い、その日時の男子の祖父母の家やその周辺の写真を映し出し、そこにいるかのような状況を作り出しました。目の前に現れる厳しい現実だからこそ、綴ることの大切さを、子どもたちは感じながらも、授業を開始で、今日のめあてを聞く子どもたち(上) 仲間の男子の思いを共有するに至らぬとまどいが授業の中で起こりました。

いつもはよく発言する5Cも、約100名の参観者に囲まれ、緊張の渦にのみ込まれた感がありましたが、子どもたちの中には「津波がある恐さ、怖ろしさ」と答える児童もいて、何名かの男子を中心に、濱田先生の問いかけに対峙し、集中してよく考え、答えていました。また、今までC組で培ってきた綴り方のスタンスにのっとり、作文の作者・男子の思いに共感しようと授業に取り組んでもいました。その姿勢は全国からお越しの参観者の方々には伝わったことでしょう…よくがんばったよ、5年C組のみんな。この経験は、これからの学びにきっと活かされると思います。



来年度、最上級生での飛躍が楽しみです。

濱田先生の問いかけに自分の考えを述べる子どもたち(左)

委員会活動もイベント開催！

行事がないこの時期、各委員会が低学年や中学年の子どもたちに活動してもらおう、と独自のイベントを企画し、楽しませてくれています。

体育委員会はフラフープ大会やフリーキック大会を運動場などで、先週一週間にぎわいを見せていました。また、今週末から来週には図書館まつりが開催の予定です。

パソコン委員会は昼休み、PC教室で「シルエット大会」と称し、委員会が作成した動物や良く見かけるものにマスキングをかけ、見にくくしてクイズ形式で答えてもらう企画を実施しました。答えはコンピュータに書きこみます。5・6年生の委員の子どもたちが1台1台回ってアドバイスや操作方法を支援しています。「さすが、上級生」と感心しながら、ユニークな企画に私も楽しんでいました。



司会進行の5・6年委員(上)



1年生のPCをながめ操作を手伝う5年生
(左)と6年生(右)

各学年の版画、 仕上がる！

4・6年生をのぞいて、各学年版画作品を制作中でしたが、どの学年も完成し、教室の後ろをきれいに飾っています。それぞれの学年でテーマも版画の種類も豊富で、鑑賞していても飽きさせない感があります。

1年生は、この時期にこんなことができるのか、と思うほどの各自出来栄で、色画用紙でダンスや縄跳び、鉄棒の動作をしている自分を作り、そこに色を重ねて、別の白い紙を押さえ版画の形に仕上げました。2年生は柔らかい発砲スチロール板に彫る感じで「花」や「動物」を描き、

青い塗料で色付けをして、版画作品に仕上げました。エッチングのような趣です。



2C作品
(上)2A
作品(右)
1A作品
(下)



2/14(日)9:00～明野校区防災訓練！

小俣まちづくり協議会主催で、明野小校区の各自治会が参加して、明野小学校運動場と体育館にて防災訓練が実施されます。

親子でふるってご参加して下さい。当日は地震体験車始めさまざまなイベント目白押しです。